

## 【7. 観光・交流】

観光イメージアップ、さらには小野町を内外にPRするため、町の重要な観光資源であるリカちゃんキャッスルとの連携により、同施設の開館20周年に合わせてリカちゃんファミリーへの特別住民票の交付式ならびにブリキのおもちゃ博物館館長の北原照久氏をお招きして記念講演会を5月3日に行ったところでありま

す。7月14日には、県の地域づくり総合支援事業を活用し、緑とのふれあいの森公園において、「第1回フォークジャンボリー絆イン小野」が開催されました。イベントでは県内や宮城県、首都圏などを拠点とするフォークグループ20組が歌声や演奏を響かせ、オープニングセレモニーでは小町夢太鼓の演奏が会場を大いに盛り上げました。小野町から、復興に向かう福島の元気を音楽をとおして発信できたものと思っております。



## 【8. 河川・道路網の整備】

「右支夏井川河川改修事業」であります。下流部の谷津作地区につきましては順調な事業の進捗が図られ、平成25年度で工事が完了する運びとなっております。

また上流部の稲荷橋から役場裏までの1.1キロにつきましては、平成24年度に計画法線が発表され、その後用地測量が行われ、地権者の特定がされたことから7月3日・4日の2日間で県による事業説明が実施され、町といたしましてはスムーズな事業推進を図るため、地権者、町、県による連絡会の設置に向けた説明を行ったところであります。一般県道吉間田滝根線整備事業であります。本線はふくしま復興再生道路として位置づけられ、中通りと浜通り地方を直結する道路として、物資輸送・帰還者支援等、災害復興に

はならない重要路線であり、早期着工を目指しており、概ね3年間で完成する見込みとなっております。

このことから、小野インターチェンジから小野富岡線までの区間について、幅200メートルの計画線を基に8月5日・6日の2日間で、県による事業説明会が実施され、測量のための立ち入りについても承諾をいただき、8月下旬より測量を実施しております。

今後詳細設計を行い、改めて説明会を実施することとなっております。

「百目木・堀切線整備事業」におきましては、狭隘部分きょうあいぶぶんを早急に解消するため、社会資本整備総合交付金事業を活用し、9月3日に工事発注を終えているところであります。

「町道及び生活道路維持事業」

側溝整備事業「町単道路改良事業」町単道路舗装事業」におきましては、生活基盤の向上、安全な走行を図るための道路維持補修や、未改良・未舗装区間の解消を図るため、年次計画により事業を実施中ではありますが、早期の事業効果が図られるよう、大規模な補正予算を9月に計上させていただいたところでありま



最後にありますが、9月16日開催を予定しておりました小野町敬老会ではありますが、台風18号の影響により参加者の安全を第一に考え、急きよ開催を取りやめましたこと非常に残念に思っております。開催を楽しみに待ち望んでいた大勢の皆さんに対し深くお詫び申し上げます。